

BRAND BOOK Rev.1.0

JUKIのjiku



JUKIは、工業用ミシンをはじめとする事業を通じて、世界中のものづくりと暮らしを支えてきました。

衣服は、人々の生活に欠かすことのできない存在です。

そして、その衣服を支える縫製産業は、時代や地域を超えて社会を支える重要なインフラの一つです。

私たちは、単に製品や技術を提供するだけではなく、お客様に寄り添いながら、産業と社会の進化を支える存在でありたいと考えています。

私たちは何のために存在するのか。

社会にどのような価値を提供したいのか。

そして、未来に向けてどのような挑戦を続けていくのか。

本冊子は、その想いを込めたJUKIグループの経営理念、ブランドステートメント、価値創造の考え方をまとめました。そして社員一人ひとりが自らの立ち位置を見つめ、次の一手を考え続けるための「軸」となるものです。

社会や価値観が大きく変化する時代だからこそ、変えてはならない想いと、未来に向けて進化させる価値の両方が重要となります。

このブランドブックが、JUKIに関わるすべての方との対話を生み、新たな価値創造へつながっていくことを願っています。



1.

経営理念体系

JUKI社員が
同じ方向を目指すために

経営理念を構成する大切な考え方

JUKIは、世界の縫製産業を支え続けてきた「現場起点」の企業です。ゆえに経営理念も、抽象的で普遍的な“良い言葉”ではなく、JUKIという企業でなければ成立しない理念であるべきだと考えました。だからこそ、どの企業にも当てはまる理念ではなく、「JUKIだから生まれた理念」を制定しました。

存在理由

JUKIグループは、縫製技術で築き上げた実績を礎に、「衣・社会のサステナブル」を支える企業で在りつづける

ビジョン

*Innovation for your
Sustainable Future*

スマートファクトリー・自動化技術を核に、社会と共に持続可能な未来を創る

私たちの 価値観

JUKI=重機

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 重なる信頼 | 5. 重みのあるイノベーション |
| 2. 重厚なつながり | 6. 重厚な生産技術基盤 |
| 3. 重みのある責任 | 7. 重視するサステナブル |
| 4. 重圧に負けない力 | 8. 重く響く感動 |

経営理念

JUKIが目指す未来と
ありたい姿

創業の精神 *Mind&Technology*

JUKIは、ここに集い、
人々のしあわせを実現し、社会に貢献する
JUKIは、技術を創造し、進化させ、
新しい価値を生み出す

品質心得

お客様と共に創る JUKI Quality

私たちの原点

全社員が世代を
超えて受け継ぎ、
実践していく
基本的な精神

中期 経営計画

経営理念を
実現するための
道程と具体的な
アクション

BACKGROUND

JUKIは、
1945年の終戦に伴って事業を失い、
社員全員を解雇しました。
そして、平和に貢献することを第一の使命として、
社員を再結集し日本の復興を支える
「ミシン製造」を開始、再出発を切りました。
私たちの原点は、
創業期から世代を超えて受け継がれてきた
基本の精神です。

創業の精神

Mind & Technology

JUKIは、ここに集い、
人々のしあわせを実現し、社会に貢献する。
JUKIは、技術を創造し、進化させ、
新しい価値を生み出す。

創業の精神は、会社の存続に向けて奔走し、ミシン製造の事業基盤を築いた3代目社長山岡憲一氏の言葉「心と技術」に由来しています。“Mind”は日本語において、単なる知性を意味するのではなく、JUKIが創業以来大切にしてきた「お客様の視点で考え抜く姿勢、行動する心」を表しています。



品質心得

お客様と共に創る JUKI Quality

創業以来、JUKIはお客様と共に世界に通用するJUKI品質を創り上げてきました。一方通行ではなく、共に考え、共に最善の道を切り拓く——そんな「共創」の品質づくりの姿勢を表しています。

BACKGROUND

多くの企業が「パーパス（存在意義）」を掲げる中で、
JUKIにおいて大切なのは、
「なぜ必要とされ続けてきたのか」を見つめ直すことでした。
JUKIは、縫製産業の発展と共に、世界中の生産現場を支えてきました。
現場を止めないこと、品質への責任、
生産を支える信頼、お客様に寄り添う姿勢。
社会を裏側から支え続けることこそが、
JUKIの存在理由です。

存在理由

**JUKIグループは、縫製技術で
築き上げた実績を礎に、
「衣・社会のサステナブル」を
支える企業で在りつづける。**

衣食住は人々の生活に不可欠な要素です。特に
「衣」の分野でJUKIグループは85年余りの永きにわたり、優れた製品・サービスで高い縫い品質の衣類を安定して供給できるソリューションを世界中に提供してきました。世界は今、様々な社会課題を抱えています。JUKIグループはモノ・コトづくり企業として、この先もその課題解決に一つ一つ取り組み、技術革新と総合力で、「衣・社会」の未来を支え続けます。

BACKGROUND

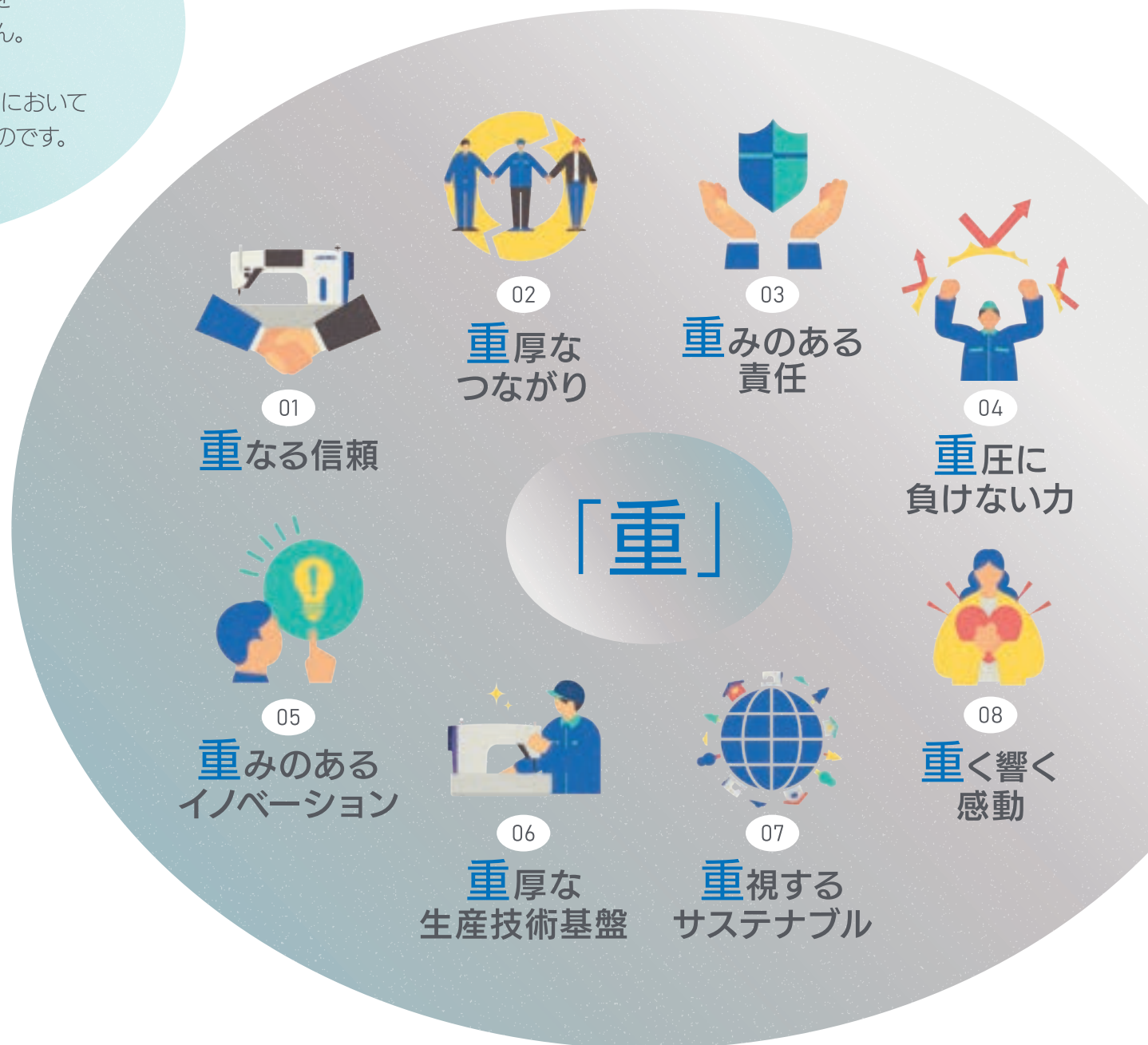
JUKIがその存在理由を発揮し続けるためには、
社員一人ひとりが同じ方向を
向いていることが欠かせません。

「私たちの価値観」は、
JUKI社員が日々の行動や意思決定において
大切にしたい考え方をまとめたものです。

私たちの価値観

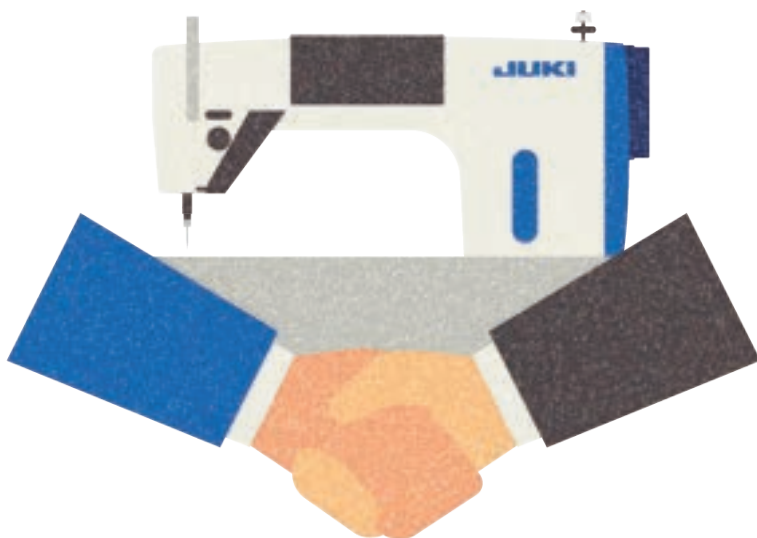
JUKI = 重機

JUKIらしさを象徴するキーワードとして「重」という言葉を用いています。ここに企業としての独自性があります。JUKIは、世界の生産現場を長年支えてきた企業として、責任、技術、品質、信頼、現場、歴史の重さを背負ってきました。この“重み”は保守性を表しているのではなく、「社会を支える企業として、簡単に揺るがないこと」を意味しています。



私たちの価値観

01



重なる信頼

私たちの製品・サービスは、
お客様と共に積み重ねられた品質を
基盤にしています。これから先も、
技術品質と誠実な対応を通じて、
お客様に揺るぎない安全・安心を提供します。

02



重厚なつながり

私たちのバリューは、お客様、パートナー、
社員そして社会との深いつながりを
基本としています。このつながりを重んじ、
信頼関係を築くことで、
共に未来を創造していきます。

私たちの価値観

03

**重**みのある責任

経営には社会的責任があります。
私たちは、全てのステークホルダーに
対して深い責任を持ち、
世界のどの会社にも負けない事業体質や
ブランドをもつ強い会社を目指します。

04

**重**圧に負けない力

私たちは、どんな困難や挑戦にも
耐え抜く力を持っています。
市場の変化や厳しい競争環境の中でも、
JUKIはグローバルネットワークを持ち、
常に前進し続ける力強さを大切にします。

私たちの価値観

05

**重**みのあるイノベーション

私たちは、表面的な新しさにとどまらず、過去の経験や深い洞察に根ざしています。そして、JUKIのイノベーションは、時間と共に価値を増し、お客様の未来を切り拓く基盤となります。

06

**重**厚な生産技術基盤

私たちは、長年の製造経験と開発を通じて培った重厚な生産技術基盤を誇りにしています。この基盤こそが、イノベーションを可能にし、未来の産業と社会を支える源泉です。

私たちの価値観

07

**重**視するサステナブル

私たちは、持続可能な社会を築くため、
環境への影響を最少限に抑えた
製品・サービスを追求し、
ものづくり企業として
地球環境を大切にしていきます。

08

**重**く響く感動

JUKIが提供する製品・サービスで
お客様に感動をお届けします。
私たちの営みが、ステークホルダーに
心からの満足と共感を与え、
広く響きわたることを目指します。



BACKGROUND

JUKIにおけるInnovationは、
「新しい技術」や「変化」だけを指すものではありません。
大切なのは、現場に根差し、社会に実装され、
お客様の未来に実際に役立つ変革であること。
生産を安定させる、熟練技術を支える、労働環境を改善する、
世界中の現場で長く使えるといった
「社会を前進させる実装力」にこそ、価値があります。
JUKIのInnovationは、
産業と暮らしを支えるための進化です。

ビジョン

*Innovation for your
Sustainable Future*

スマートファクトリー・自動化技術を核に、
社会と共に持続可能な未来を創る。

2.

ブランドステートメント

JUKIの価値を
伝えるための言葉

経営理念体系とブランドステートメントの関係

経営理念体系で示した価値観やありたい姿を、JUKIらしい価値の生み方として言葉にしたものが「ブランドステートメント」です。
私たちがこれからどのような価値を生み出していくのか、その源泉となる強みと姿勢を込めています。

経営理念体系



ブランドステートメント

お客様に寄り添い、
社会を支える

ブランドステートメントの姿勢を胸に、お客様、株主・投資家、お取引先、地域社会、未来の社員（仲間）といった多様なステークホルダーに価値を届けていきます。

BACKGROUND

JUKIは、お客様に寄り添いながら、
製品開発や品質・サービス向上に取り組み、価値を生み出してきました。
ブランドステートメントには、その初心を忘れず、私たちの存在理由である
「衣・社会のサステナブル」を支え続ける決意を込めています。

お客様に寄り添い、 社会を支える

JUKIのものづくりは、お客様一人ひとりに
寄り添う姿勢を大切にしてきました。

お客様と遂げた技術革新

お客様の生産を守るJUKI品質

お客様と繋がった185カ国への市場開拓

お客様の地域に根付くサービス体制

それは、お客様と共に成長してきた証です。

これからもこの姿勢を大切に、ものづくりの枠を越え、
人と社会に新たな「コト」を届けるブランドへ。

[タグライン]

お客様に寄り添い、社会を支える

The JUKI logo is displayed in a bold, blue, sans-serif font. Above the logo is a horizontal line with a green-to-blue gradient.

ブランドステートメントの解説

FUTURE

サステナブルな社会を支える

“JUKIらしさ”を発揮し、ものづくりの枠を超えて、人と社会を新たな価値（コト）で支えます。

NOW

寄り添うことで JUKI が生み出す価値

お客様に寄り添い、本質的な課題を捉え、確かな価値と信頼を築きます。

現場起点の
技術革新

頑なまでに
壊れない
JUKI品質

長期的な
パートナーシップ

お客様と共に
進化する生産性

地域に根付く
サービス体制

役割を超えて、すべての社員が同じ姿勢を共有

開発

生産

品質

営業

企画

CORE

サポート
サービス

JUKIらしさの源泉

“お客様に寄り添う”姿勢

すべての価値創造の出発点です。

JUKIらしさとは、お客様に寄り添う姿勢です。企画、開発、生産、品質、営業など——役割は違っても、お客様に向き合い、モノとコトを通じて価値を届ける。その想いは変わりません。「お客様に寄り添い、社会を支える」この姿勢こそが、信頼され続けるブランドの証です。

ブランドステートメントの世界観を直感的に共有するためのキービジュアルです。右側には、JUKI社員がお客様に寄り添う場面や、縫製工場で働く人々、家庭にミシンが根付く様子を描いています。左側には、JUKIの製品をモチーフにした街並みを配し、社会とのつながりや未来への広がり表現しています。全体を包み込む青いラインは、JUKIが社会を支え、人と未来をつないでいく姿を象徴しています。





成川 敦

経営理念の役割

企業を取り巻く環境は常に変化しており、好不調の波は避けることができません。これは企業に限らず、個人の人生や業界全体においても同様です。そうした中で重要になるのが、**環境変化に振り回されることなく、自らの立ち位置を見つめ、次の一手を考え続けるための「軸」を持つこと**です。私たちにとってのその軸が、本ブランドブック-JUKIのjiku-に集約されています。

経営理念は、これまで当社が大切にしてきた価値、培ってきた固有の強み、そして社会において果たしてきた役割を

内包しています。現状とそれらを照らし合わせることで、変化の中でも進むべき方向を見失うことなく、次の成長に向けた意思決定の拠り所となります。

社員に期待すること

当社が持続的に成長していくためには、**社員一人ひとりが「自立」と「自律」を体現することが不可欠**です。具体的には、自らの行動の意味を主体的に考え、その上で行動することです。初めは十分に理解できないまま行動することもあるかもしれませんが、その経験を通じて「なぜこの行動を取るのか」を考える習慣を身につけることが、やがて自ら考え行動できる力を育てます。変化のスピードが加速し、不確実性が高まる現代においては、判断に迷う局面も少なくありません。そのようなときこそ、私たちは「経営理念」に立ち返ります。もし**新たな環境がビジョンの実現を阻害している場合は、その要因を取り除くか、別の方法を模索するか、あるいは自らが変化する**

か——常に複数の選択肢を検討し続けることが重要です。その積み重ねを通じて、一人ひとりが競争力を形作る存在になることを期待します。

挑戦＝我々のブランドを形作るもの

企業経営において、永続的に通用する成功モデルは存在しません。だからこそ、**変化に応じて自らを問い直し、進化し続ける組織であることが求められます**。当社は、社員一人ひとりの主体的な行動と知恵の積み重ねによって、既存の成功に安住することなく、その限界を見極め、必要な変革を実行していきます。また、その過程においては、経営の判断そのものも問い直し、より良い方向へと修正し続けていきます。こうした取り組みの積み重ねこそが、企業価値を高め、真に持続可能な企業を形づくりま。我々は、「経営理念」を起点に、**挑戦し続ける組織として、真にサステナブルなJUKI・ブランドを築き上げていきます。**

お客様に寄り添い、社会を支える

